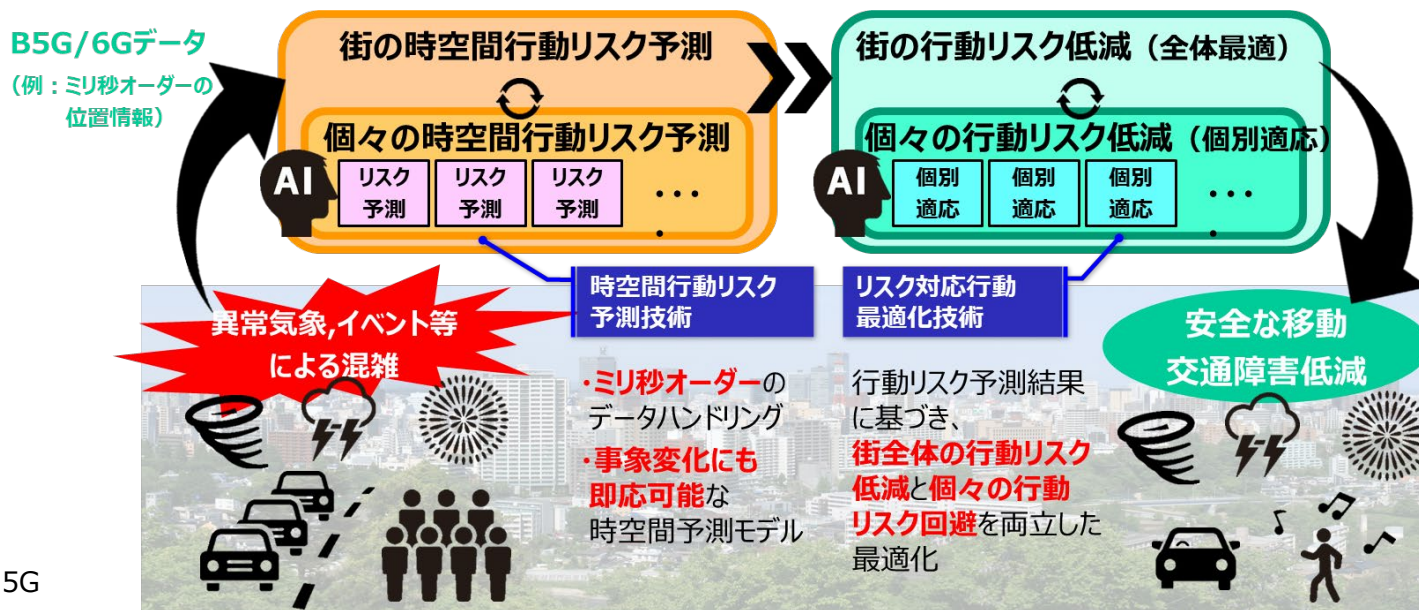


持続性の高い行動支援のための次世代IoTデータ利活用技術の研究開発

次世代マルチモーダルIoTデータによる行動ナビゲーションを想定した、
事象変化に即応可能な時空間行動リスク予測・最適化技術の研究開発

研究概要：頻発化、激甚化する風水害などの社会課題解決を目指し、突発的な異常発生時にも即応可能な行動ナビゲーションサービス実現のための要素技術開発を行う。具体的には、疑似生成した数ミリ秒オーダーの次世代マルチモーダルIoTデータを利用し、異常気象などによる混雑などの行動リスク予測を**従来の再帰型深層学習手法に比べ予測精度10%以上の向上**、また予測結果を交換・協調しながら全体最適と個別適応を両立したリスク回避により、**総旅行時間※を10%以上低減**させることを目指している。防災・減災などを始めとした社会実装を通じて**令和9年ごろの商用利用開始**を目指している。

※ ある2地点間の移動に要する時間の対象者全員の総和であり、交通渋滞等により増大する



【研究開発期間】 令和4年度から令和6年度まで

【受託者】 株式会社KDDI総合研究所（代表研究者）